

学校評価のガイドライン

1 学校評価の必要性

教育活動の改善を図るために

教職員の意識改革を図るために

保護者や地域住民の学校への協力を得るために

教育委員会による支援の充実を図るために

2 学校評価の方法・留意点

① 自己評価と外部アンケート

学校の教育目標や具体的計画、その他の学校運営の状況について、教職員自らが評価を行うこと。児童生徒、保護者、地域住民へのアンケート結果なども活用する。

- ※学校の目標や具体的計画は、校長のリーダーシップの下で、全教職員が参加して設定されることが大切です。
- ※外部アンケート票の記入を依頼する際には、冒頭に、目的、対象者、重要性、プライバシーの保護、結果の公表、所要時間等の情報を盛り込むことが必要です。

② 外部評価

学校が行う教育活動や学校運営に関して、外部評価委員(学校評議員、保護者、地域住民等)から評価してもらうこと。

- ※外部評価委員には、日常的に学校の取組状況について知らせる機会を設け、学校の自己評価結果をもとに評価してもらいます。
- ※外部評価シートには、専門的な言葉ではなく、わかりやすい言葉に言い換えることが大切です。

③ 第三者評価

当該学校と全く関係がなく独立し、評価に関して一定の研修を経て、資格や認定を受けた機関あるいは評価者が専門的見地から評価を行うこと。

